



平成22年5月19日

国土交通省

## 北海道新幹線（新青森・新函館（仮称）間）

### 工事実施計画（その2）の認可について

全国新幹線鉄道整備法第9条第1項の規定に基づき独立行政法人  
鉄道建設・運輸施設整備支援機構から申請のあった北海道新幹線  
新青森・新函館（仮称）間工事実施計画（その2）の認可申請に  
ついて、平成22年5月19日付けで認可しましたので  
お知らせします。

#### 〔主な変更内容〕

○駅舎の建築、新線建設区間の軌道、電気等の開業設備の追加

○上記に伴う工事費の変更

3,194億円（平成15年4月価格）

→4,591億円（平成15年4月価格）

連絡先

国土交通省鉄道局施設課  
林

TEL 5253-8111(代) 内線40832  
5253-8553(直通)

## 北海道新幹線 新青森・新函館（仮称）間工事実施計画の概要

### 1. 線路の概要

- (1) 区 間 新青森・新函館（仮称）間
- (2) 駅の位置 新青森駅 (既認可：青森県青森市)  
奥津軽（仮称）駅 (新 設：青森県東津軽郡今別町)  
木古内駅 (併 設：北海道上磯郡木古内町)  
新函館（仮称）駅 (併 設：北海道北斗市)
- (3) 車庫施設及び検査修繕施設の位置  
函館総合車両基地（北海道亀田郡七飯町飯田、北斗市稻里）  
五稜郭車両所 (函館市港町)
- (4) 線路延長 1 4 8 km 7 9 0 m (共用区間約 8 2. 0 km を含む)

### 2. 工事方法の概要

- (1) 最高設計速度 2 6 0 k m / h
- (2) 工事延長 約 1 4 8. 3 km (新線区間約 6 6. 3 km、共用区間約 8 2. 0 km)  
路 盤：約 1 2. 4 km (約 8%)  
橋 り ょ う：約 5. 5 km (約 4%)  
高 架 橋：約 3 4. 7 km (約 23%)  
ト ン ネ ル：約 9 5. 6 km (約 65%)
- (3) 当該区間の主要な施設概要  
最小曲線半径 基本 4, 0 0 0 m  
最 急 勾 配 2 0. 8%  
軌 間 1, 4 3 5 mm  
軌道中心間隔 4. 3 m 以上  
列車の制御方式 列車間の間隔を確保する装置による方法  
通信設備の概要 光搬送設備及び列車無線設備  
電車線の電気方式 交流 2 5 k V  
電車線の吊架方式 (青函トンネル区間はヘビーコンパウンドカテナリ方式、その他の区間はシンプルカテナリ方式)  
き 電 用 変 電 所 2 箇所
- (4) 工事費 約 4, 5 9 1 億円
- (5) 工事の完了予定時期 平成 2 7 年度末

※下線部は、今回認可による変更事項。

# 北海道新幹線概要図

北海道

新函館(仮称)駅

函館駅

しんもへじ  
新茂辺地トンネル  
(3,255m)

おしまとうべつ  
渡島当別トンネル  
(8,080m)

きこないがわ  
木古内川橋りょう  
(180m)

青函トンネル (53,850m)

北海道  
青森県

奥津軽(仮称)駅

つがるよもぎだ  
津軽蓬田トンネル  
(6,190m)

青森県

しんじょうがわ  
新城川橋りょう  
(62m)

新青森駅

↓八戸方

## 分類

- 新幹線のみが走行
- 新幹線と貨物が共用走行
- 在来線のみが走行